

大清会会派視察報告書

日時 平成31年2月13日

参加者 佐藤 勝 山村 康治 富田 文志 佐藤 仁一  
関 武徳 加藤 善市

視察地 山形県鶴岡市

視察目的 鶴岡駅前再開発事業を視察し大崎市の駅前を考える

鶴岡の地元企業が出資して設立したFU\_\_DO（ふうど社）は駅前という立地を活かし1階部分には（約1700㎡）に土産品店、イタリアンカフェ、地元の海産物を使った寿司屋、居酒屋など出店しており観光案内所も開設しており鶴岡駅前の新しい顔になっておりました。

これまでの経過と考察

1987年に鶴岡駅前地区市街地再開発としてホテルを核とした「マリカ西館」専門店街の「マリカ東館」の2館体制で、一足先に開店したジャスコ鶴岡店とも連結されていた。

マリカ東館は6階建て、そのうち売り場は1～3階でファッション店、飲食店100円ショップ、ゲームセンターなどが出店していた。しかし2001年に郊外にイオンモール三川が開業した後は客足が減り2005年にはイオンジャスコ鶴岡店が閉店。ジャスコと連結していたマリカ東館を運営する鶴岡再開発ビル（第3セクター）は経営破綻状態となり解散、商業テナントは2007年で全て閉店しました。

マリカ東館は鶴岡市の所有になっており、2階には「鶴岡市教育相談センター」など、3階には「庄内産業振興センター」鶴岡市の育児ルーム「まんまルーム」などの公共・公益施設が入居している以外は空き店舗になっていた。大崎市の顔と言える古川駅前を考えた時多くの市民・経済団体と話し合う時が来たと思う